

# 平成24年度 介護報酬改定をうけて



# 笑雲

しょう

うん

第55号

発行：平成24年7月8日

## 祥雲館

社会福祉法人 桃林会

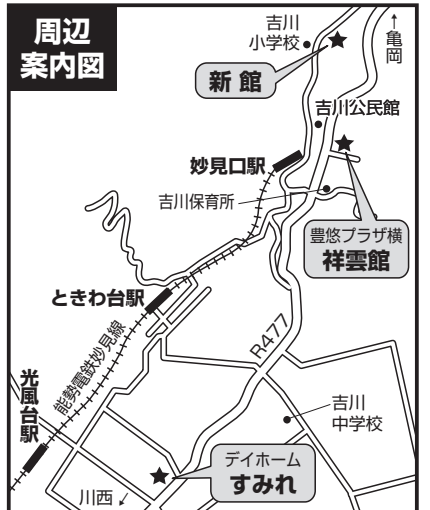
〒563-0101 大阪府豊能郡豊能町吉川187-1

TEL：072-733-2301

FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください

### 周辺 案内図



### 改定の向かいになる？

3年ごとに介護報酬の改定が行われ、今年、平成24年はその改定の年にあたります。

今回の改定では、要介護高齢者の方が、できるだけ長く在宅生活が継続できる仕組みを考えているように思います。例えば、介護者の負担軽減です。デイサービスの長時間利用やヘルパーさんが効率的に訪問できるように時間区分の変更がなされています。

### 改定の目玉！

今回の改定の目玉ともいえるのが『24時間定期巡回随時対応型サービス』による、在宅での中重度高齢者への支援の創設です。これは、ヘルパーさん、看護師さんが、日中・夜間を通じて、1日複数回の定期巡回と利用者から

の通報による随時の訪問を実施していくというものです。また、今回の改定では、高齢者の住まいの整備も盛り込まれています。単身や夫婦のみの高齢者世帯が安心して住める賃貸方式を原則とした『サービス付き高齢者住宅』の供給を推進しています。

この『サービス付き高齢者住宅』と先の『24時間定期巡回随時対応型サービス』を組み合わせることによって、日常生活や介護への不安を抱くことなく、住み慣れた地域で安心して暮らしているのではないのでしょうか。

### 介護報酬改定から見えるもの

ヘルパーサービスやデイサービスは利用者の生活を大きく支える部分であり、今回の改定は生活そのものが変わってしまう、

もしくは継続できなくなる可能性があり、ケアマネジャーとしては、ケアプランの見直しを大きく求められました。デイサービスの利用時間については、意向を伺いながら時間を決めていますが、長時間、短時間の利用の方、どちらからも好評と声を頂いています。しかし、ヘルパーサービスについては、時間区分の変更の為、今まで行っていた事ができなくなったりという事業所からの声がありました。また、長いサービスは入れづらくなり、2回に分けて行うなどの細かなプランの変更が必要になりました。



今回の改定が高齢者の方にとってプラスとなり、また本当に目玉となるようにうまく活用して、今後も在宅生活を支援していければと思っています。

### 他者を理解すること、受け入れること、バリエーション

バリエーション・メンツド。日本ではまだ、一部の先駆的な施設のみでしか採用されおらず、一般的にはあまり知られていない。コミュニケーション技法なので、海外の介護者の間では絶大な信頼をえている革新的なコミュニケーション技法があります。

これまで認知症高齢者に対する理解や受容は原則としては掲げられてきたが実践することが難しかった側面があります。祥雲館では、今後バリエーションについて地域の方と共に学び、今一度、高齢者の方との関係を深めていきます。

### サポーター大募集!!

祥雲館で、ボランティアとしてサポートして下さる方を募集しています。お話し相手・見守り・レクリエーション補助・外出レクリエーション・調理補助など活動場所はたくさんあります。ご興味のある方、ご連絡ください。

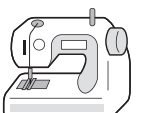


ご連絡先 TEL：072-733-2301 総務まで

### ミシンをご寄付ください!!

使えるけれど今は使っていないミシンが家にありませんか？ 持ち運びできるコンパクトなミシンをご寄付ください。

希望台数：3台



ご連絡先 TEL：072-733-2301 総務まで

# 祥雲館の出来事

祥雲館で最近の出来事を紹介します。

- ◆2012.3.4(日)  
○特養2F うぐいすで「定期家族会」を行いました
- ◆2012.3.11(日)  
○グループホームで「朝ご飯作り」を行いました
- ◆2012.3.15(木)  
○グループホームで「ホワイトデーレク」を行いました
- ◆2012.3.18(日)  
○特養2F たんぼぼで「定期家族会」を行いました
- ◆2012.3.24(土)  
○特養3F「家族会 食事会」を行いました メニューは手巻き寿司でした
- ◆2012.3.25(日)  
○特養2F うぐいすで「家族会 食事会」を行いました。メニューはサンドイッチとビーフシチューでした
- ◆2012.3.26(月)  
○本館・新館に「消防立入検査」の実施が行われました
- ◆2012.3.31(土)・4.1(日)・7(土)  
○「バリテーション講座(基礎・中級編)」を地域の方々にもご参加いただき職員一同、都村尚子先生の講習を受講いたしました
- ◆2012.4.1(日)  
○特養2F うぐいすで「定期家族会」を行いました
- ◆2012.4.3(火)・12(木)  
○デイサービスセンターあじさいで「お花見」へ出掛けました
- ◆2012.4.7(土)・8(日)・11(水)  
○特養3F・4F「花見ドライブ」へ出掛けました
- ◆2012.4.12(木)  
○デイサービスセンターみずほで「お花見」へ出掛けました
- ◆2012.4.14(土)  
○グループホーム 花みずきで「お花見」へ出掛けました
- ◆2012.4.15(日)  
○特養2F たんぼぼで「定期家族会」を行いました。豊能町長杯男子ソフトボール大会に職員のチームが出場して準優勝いたしました
- ◆2012.4.16(月)  
○グループホーム「揚げたて天ぷらの日」を行いました
- ◆2012.4.18(水)・25(水)  
○デイサービスセンターあじさいで「お買物」へ出掛けました
- ◆2012.4.21(土)  
○第10回 祥雲館café「平成24年度介護報酬改定について」を行いました
- ◆2012.5.18(金)  
○共済会ソフトボール大会に職員のチームが出場して「ベスト8」入りしました
- ◆2012.5.26(土)  
○特養3F「家族会 食事会」で焼肉パーティーを行いました
- ◆2012.5.27(日)  
○ボーイスカウト来館

祥雲館のホームページ

<http://www2.gol.com/users/syownkan/>

次の発行は平成24年10月14日(日)です

# 祥雲館 Café

## 高齢者住宅開発プロジェクト始動!

誰もが住み慣れた自宅です。でも暮らしたいと考えています。しかし、このことの大切さや難しさを普段から意識している人は、ほんのわずかではないでしょうか？ それは自宅暮らしが続けられることが、当り前のように思い込んでいるからでしょう。

厚労省や総務省のデータ(2010年)を見ると、80歳以上では13人に1人の方々(約7.5%)が介護施設で現に暮らされています。90歳以上の統計データはありませんが、さらに高い比率であることは間違いありません。また、全世代を通して、自宅で看取られる方は8人に1人(約13%)に過ぎず、ほとんどの方が、病院や施設で看取られている現実があります。これらことから、住み慣れた家を離れることは、決して他人事では

ありません。もし、あなたが普段の生活で誰かの支援を必要とするようになり、自宅を離れなければならないとしたら、どのような場で暮らしたいですか？ 祥雲館カフェでの住民同士の対話の中からも、これらの問いが何度も上がりました。そのため、このテーマについて真剣に議論する場が必要と考え、施設職員と地域住民の参画による

「高齢者住宅開発プロジェクト」が始動しました。次回のカフェでは、このプロジェクトでの検討内容を踏まえた上で、『地域で暮らす場』をテーマに、皆で喫茶をしながら、語り合いたいと考えます。地域住民のプロジェクトメンバーも募集しています。まずは、次回のカフェにお越し下さい！お待ちしております！

【日時】平成24年7月21日(土) 10時～12時

【場所】祥雲館新館 あじさいダイルーム

【会費】200円(懇話会喫茶代)

【内容】語ろう会「地域で暮らし続けられる棲家について」  
：語り手 高齢者住宅開発プロジェクトのメンバー



お申込みは、祥雲館 TEL : 072-733-2301 まで

## 編集後記

父の日、母の日のプレゼントを何にするか、考え悩んでいた吉本慶史です。私の母の誕生日が5月、父の誕生日が6月と母の日、父の日と重なっているのでプレゼントをまとめてしまいます。プレゼントを「ありがとう」と私は照れながら渡しましたが、この「ありがとう」という言葉には重みがあると感じています。

「ありがとう」を漢字にする「有り難う」になります。困難が有ることがいい、と書きます。今年で23歳になった私ですが、両親にとっては育てる中で病気や、進学について多々困ったことがあったでしょう。それでもここまで育ててくれました。今も育ててくれていきます。まさに私は両親の「有り難う」な人生を送っているのです。

そんな父と母に「有り難う」

「あなたたちの子として生まれて、これ以上ない幸せをかみ締めて生きていきます」

そんなことを感じている今日の頃です。